

9月
定例会

9/4

9/10

平成30年度 各会計の決算認定

歳出総額で57億6662万円

9月定例会は平成30年度各種会計決算に係る報告3件、認定6件のほか、令和元年度各種会計補正予算など議案8件が提出されました。

一般会計歳出は
38億7155万円

平成30年度一般会計の決算は、歳入で40億8546万円、歳出で38億7155万円になり、前年対比では歳入で9億8408万円減、歳出で8億6331万円減となりました。翌年度に繰り越すべき財源を除き、実質収支額は1億9344万円の黒字となりました。

特別会計歳出合計は
18億9506万円

特別会計の決算は歳入で20億716万円、歳出で18億9507万円になり、前年度に比べ歳入で3億2448万円の減、歳出で2億2364万円の減となりました。

■各会計の決算状況■

(下段は前年度の金額 単位：万円)

会 計 別		歳 入	歳 出	歳出前年増減額 及び増減率
一般会計		40億8546 50億6954	38億7155 47億3486	▲8億6331 ▲18.23%
特 別 会 計	国民健康保険	9億6793 12億9201	8億6963 11億1182	▲2億4219 ▲21.78%
	簡易水道事業	2億6428 2億9788	2億6180 2億9620	▲3441 ▲11.61%
	農業集落排水事業	1億2937 1億1553	1億2760 1億1455	1305 11.39%
	後期高齢者医療	6142 4660	6071 4615	1455 31.53%
	介護保険事業	5億8416 5億7962	5億7533 5億4999	2533 4.61%
合 計		60億9262 74億118	57億6662 68億5357	▲10億8696 ▲15.86%

※表示単位未満を四捨五入しているため、内訳と合計などの計算が一致しないことがあります。

監査委員の決算審査意見(抜粋)

- ①村税の収入未済額は、一般会計特別会計併せて1億2343万9000円となっている。検討委員会等を早急に立ち上げ、収入未済額の削減に努めること。
- ②経常収支比率は85.7%（前年度より1.0ポイント上昇）し、財政の弾力性の標準75%を超えており、財政構造は硬直化の傾向にある。経常的経費の抑制を図るよう努めること。
- ③交付税参入率の高い有利な起債を活用し、事業を厳選のうえ村債の抑制に努めること。
- ④健全化比率、資金不足比率ともに健全化段階にあるが、その財務の内容を示す指標の経常収支比率は依然硬直化傾向にある。
- ⑤年次休暇取得率は依然として低い。年次休暇を取得できる体制と、計画的に取得するよう指導すること。時間外勤務では、特定の部署・職員に偏らないよう改善すること。

平田村代表監査委員 関根 猛 ・ 平田村監査委員 根本定雄

平成30年度は主に こんなことに使われました

庁舎周辺整備事業

旧永田小学校体育館改修工事
駐車場舗装工事
旧庁舎及び保健センター解体工事

1億 7028万円



中学校プール建築工事

(平成 29・30 年度継続事業)

1億 2580万円



こども園建設事業

基本設計業務委託料
実施設計業務委託料用地取得費

3118万円



簡易水道事業

配水管測量設計業務・舗装本復旧工事
配水管布設替工事・水道メーター交換工事
新水道ビジョン策定業務委託料等

1億 927万円



観光振興事業

世界のあじさい園ギネス登録(指定寄付事業)
多目的休憩施設建築設計委託料等
※ジュピアランドひらた管理費含む

7628万円



試験栽培施設整備事業

園芸作物パイプハウス設置事業補助金
育苗センター管理運営

2585万円

